

懸け橋

第43号2026年10月

船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと

外来から見える在宅医療

—ふなぽーとへの感謝と、これからの一步—

佐々木医院院長 佐々木 大樹

船橋市医師会理事（感染症・成人ワクチン担当）



佐々木医院は消化器内科を専門とする一般内科クリニックで、日々外来を中心に診療をしています。実は当院、在宅診療は「まだ」やっていません。恥ずかしながら胃カメラや外来診療でいっぱいいっぱい、往診バッグを積んで町を回る姿はまだ想像の中にしかない、というのが正直なところですが。それでも外来にいらっしゃる患者さんの中には、だんだん通院が難しくなってきた方や、ご家族から「そろそろ往診をお願いできないでしょうか」と相談されることが、実は結構あります。

そんなとき「助けて、ふなぽーとさん！」と心の中で叫びながら電話するのが、もはや当院のルーティンになりつつあります。往診先探しはもちろん、在宅療養に切り替えるタイミングや、家族関係が複雑でこちらがちょっと及び腰になってしまうようなケースへの対応まで、相談すると地域事情に詳しい視点からズバッと的確なアドバイスをもらえるのです。多職種の知見も交えて提案してもらえることが多く、こちらが用意できる引き出しの数が一気に増える感覚があります。おかげさまで、私は「相談上手」というスキルだけはめきめき上達しました。

在宅をやっていないクリニックにとって、「困ったときにパッと頼れる場所がある」というのは、迷子のときのGPSのようなものです。患者さんやご家族が住み慣れた自宅で安心して過ごし続けられるよう支えるうえで、ふなぽーとは欠かせない存在だと感じています。いつもありがとうございます。

そんな心強い後ろ盾のおかげもあって、当院でも「そろそろ本腰を入れて在宅診療に取り組んでみようか」という気持ちが芽生えてきました。とはいえ胃カメラも捨てがたく、二刀流への道はまだ模索中です。それでも外来で築いてきた患者さんとの関係を、必要になったときには在宅の場でも続けられるよう、少しずつ準備していきたいと思っています。その際もふなぽーとはじめ地域の皆さんに、これまで以上に頼らせていただくことになりそうです。

これからも、ふなぽーとのますますの発展と、船橋市の在宅医療がもっと充実していくことを、往診バッグを買う日を夢見ながら楽しみにしています。



総括者だより

総括者 訪問看護認定看護師 佐々木ゆかり

日頃よりふなぽーとの事業へのご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

今年の夏は雨が多く、8月の線状降水帯の豪雨では近隣でも大きな被害がありました。

9月の台風25号では、ふなぽーとも浸水し片づけに追われましたが、電気系統などへの影響がないのが幸いでした。

災害等では、支援者が気になる内容は、重複する部分が多いので、繰り返しの行動にならないために他機関、多職種で情報を効率的に共有していくことが大切だと改めて実感しました。

季節の変わり目です。皆さま体調を崩さずに乗り切れますように。引き続きよろしくお願いいたします



令和8年度運営連絡調整会議を開催いたしました

各職能団体のみなさまにご参加いただきました。

各団体が抱えている「地域課題」について、情報を共有し意見交換をいたしました。

今後も連携、協働を大切にして、課題解決に向けて取り組んでいけたらと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



10月以降の地域活動の予定

10月4日 塚田健康まつり

10月14日 船橋在宅医ネット等
合同懇親会開催

11月1日 ふなばし健康まつり
(船橋アリーナで開催予定)

11月26日 在宅医ネット研修会

船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと

〒273-8506 船橋市北本町1-16-55

保健福祉センター1階

TEL : 047 - 409-1736

FAX : 047 - 409-1912

Mail : info@funabashi-zaitaku.com

H P : <https://www.funaport.com>

運営時間：月曜日～金曜日

午前9時～午後5時

※休日：土・日・祝・年末年始

